

保育内容演習ⅠⅡを通した学生の主体的な学びの形成に
資する保育者養成プログラムの構築(3)
-2019年度のキッズランドの取り組み-

Construction of nursery teacher training program for developing students'
active learning through the childcare contents seminar I II (3):A report of
results practicing "KIDS LAND" in 2019

小山優子 梶谷朱美 渡邊寛智 小林美沙子
(保育教育学科) (保育学科) (保育学科) (保育学科)

キーワード：遊びコーナー、製作活動、環境設定、保護者との関わり

1. はじめに

平成30年度より短期大学部保育学科では、「保育内容演習Ⅰ・Ⅱ」の授業を新設し、学生が主体的に考え実践する力を身につけ、保育者としての力量を高めるカリキュラムの開発を進めてきた。「保育内容演習Ⅰ・Ⅱ」の授業は保育士養成・幼稚園教諭養成課程の専門科目である「保育総合科目」に位置づく科目であり、短大保育学科の1年生が年間を通じて学修する必修科目として設置されている（なお、平成31年度入学生より新カリキュラムにおける授業が実施されており、昨年度とは授業の位置づけが異なる）。この授業は、保育内容の5領域の内容を総合的に取り入れた幼児向けの表現活動を計画・実践することを通し、学生が幼児への適切な指導法の理解を身につけることを目的としている。そのため日常の保育場面を想定し、子どもたちが遊んだり製作活動をしたりする遊び場コーナーを計画・準備・運営すること（キッズランド）や、歌や手遊び、クイズ、ペープサートやパネルシアター、人形劇や劇などの表現活動を創作し、地域の子どもや保護者を学内に招いて発表会を行う内容（キッズシアター）の実践活動を授業の柱としている。今年度も昨年度に引き続き、授業計画及び学生が活動を進めて行く過程を記録し、保育者としての力量を高めるカリキュラムの開発に必要な知見を蓄積する。そのため、本稿では「保育内容演習Ⅰ・Ⅱ」の2年目の授業計画と子ども向けあそび場コーナーを計画・準備・運営する活動であるキッズランドに関する授業内容について報告を行う。

2. 2年目の授業内容

1) 授業の目的と授業構想

表1.「保育内容演習Ⅰ」授業計画

【春学期】「保育内容演習Ⅰ」(4～9月)

講義日	回数	場所	時間	授業内容	
4月9日	火	1	保健実習室	2限 (10:40-12:10)	授業内容の説明、12月発表会(キッズシアター)参考ビデオ視聴①
4月15日	月		表現演習室	5限 (16:30-18:00)	2保先輩による昨年度のキッズシアターの発表
4月16日	火	2	図書館	2限 (10:40-12:10)	図書館でキッズシアター活動案の教材調査
4月23日	火	3	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	おはなしレストランでキッズシアター活動案の教材調査
5月7日	火	4	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	キッズシアター活動案の個人発表、活動案の決定とパート決め
5月14日	火	5	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、キッズシアターパート別題材決め①
5月21日	火	6	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、「昔話の再話・台本の作り方」講義、パート別題材決め②
5月28日	火	7	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、パート別題材決め③(活動内容の計画)
※5/28の週以降、空きコマにパート別で自主活動を行う！(日時を指定するので必ず出席する)					
6月4日	火	8	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、パート別題材決め④、パートリーダーの決定
6月11日	火	9	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、パート別台本作り⑤(活動内容の計画)
6月18日	火	10	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、パート別台本作り・製作・準備・練習⑥
6月25日	火	11	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、パート別台本作り・製作・準備・練習⑦、活動案報告
7月2日	火	12	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、パート別台本作り・製作・準備・練習⑧、活動案報告
7月9日	火	13	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	キッズランド(大学祭)活動案の個人発表、グループの決定
7月16日	火	14	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	キッズランド(大学祭)の遊び場ブースの計画・準備①、活動案報告
7月23日	火	15	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	キッズランド(大学祭)の遊び場ブースの計画・準備②、活動案報告
7月30日	火	16	表現演習室	2限 (10:40-12:10)	発声練習、キッズシアターの全体リハーサル①(各パート発表)
8月1日	木		表現演習室	4限 (14:50-16:20)	2役選挙
夏休み中					自主活動として各パート別にキッズシアターの題材選び・台本作り
9月末					大学祭チラシ案完成

この授業は、保育内容「表現」「言葉」「健康」「人間関係」「環境」の5領域の内容を総合的に取り入れた幼児向けの表現活動を計画・実践するとともに、幼児への適切な指導方法の理解を目的とするものである。5領域の保育内容を統合し、キッズランドでは、子どもたちの遊びコーナーや製作コーナーを作り、子どもたちがどうすれば充実した遊びや活動ができるか、楽しい活動ができるための環境構成や保育者の指導・援助ができるのかを実践を通して学んでいく。また、キッズシアターでは歌や手遊び、クイズ、パネルシアター、人形劇、オペレッタ、演劇などの子どもたちのための表現活動について具体的に創造しながら子どもたちがどのように楽しい時間を過ごす内容を発表することができるかを体験的に学んでいく。「保育内容演習Ⅰ」では、幼児

表2.「保育内容演習Ⅱ」授業計画

【秋学期】「保育内容演習Ⅱ」(10～3月)

講義日	回数	場所	時間	授業内容	
※10/1の週以降、保育所・幼稚園などにチラシを配布（10/6頃までに配布終了）【広報】					
10月1日	火	1	表現演習室	2限（10:40-12:10）	大学祭に向けての計画・準備、当日の準備
※10/1以降、空きコマにパート別で自主活動を行う！（日時を指定するので必ず出席する）					
10月8日	火	2	表現演習室	2限（10:40-12:10）	大学祭に向けての計画・準備
10月15日	火	3	表現演習室	2限（10:40-12:10）	大学祭に向けての計画・準備
10月18日	金		表現演習室	終日	大学祭準備
10月19日	土		表現演習室	8時～18時	大学祭1日目（キッズシアター10時～15時まで開催）
10月24日	木	4	表現演習室	4限（14:50-16:20）	発声練習、キッズシアターのパート別練習①
10月29日	火	5	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、キッズシアターのパート別練習②、「台本様式」講義
11月5日	火	6	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、パートリハーサル①、チラシ案の作成
11月12日	火	7	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、パートリハーサル②
11月19日	火	8	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、パートリハーサル③、チラシ作りの決定・印刷作業
11月26日	火	9	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、パートリハーサル④
※11/26の週以降、保育所・幼稚園などにチラシを配布（12/2頃までに配布終了）【広報】					
12月3日	火	10	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、キッズシアターのパート別練習③
12月5日	木		表現演習室	1.2限（9:00-12:10）	全体リハーサル①(全グループ)
12月10日	火	11	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発声練習、キッズシアターのパート別練習④
12月17日	火	12	表現演習室	2.3限（10:40-14:40）	全体リハーサル①(全グループ)※通し練習
12月19日	木	13	表現演習室	1.2限（9:00-12:10）	全体リハーサル②(全グループ)※通し練習
12月21日	土	14	表現演習室	午前中	全体リハーサル(ゲネプロ)(最終)、会場準備・設営
12月22日	日		表現演習室		キッズシアター発表会(10時～12時・14時～16時)2回公演)
1月14日	火	15	表現演習室	2限（10:40-12:10）	キッズシアタービデオ視聴、発表会のふりかえり①
1月21日	火	16	表現演習室	2限（10:40-12:10）	発表会のふりかえり②、教員総括

の表現活動につながる様々な教材を調べる中で、幼児にとってのよりよい活動や教材を理解する視点を身につける。また幼児を対象とした発表会の活動案を考え、準備をする過程で教員の指導を受けるとともに、学生相互に改善点を伝え合うことを通して様々な幼児への指導方法を理解する。「保育内容演習Ⅱ」では、学生の主体的な教材研究を活かした活動案を考え、リハーサルを繰り返しながら教員の指導や学生相互に改善点を伝え合うことを通して表現指導の方法を習得する。また計画した内容を発表し、実際の子どもの反応

から計画案を省察・評価し、幼児への望ましい表現指導の方法を習得する。

2) 授業内容と年間計画

授業計画は、昨年度と同様、第1に2019年10月の大学祭に子どもの遊び場コーナー（キッズランド）を学内で実施すること、第2に12月下旬に2時間程度の学生主体のプログラム（キッズシアター）を学内で発表することとした。実施上、昨年度と異なる点は、学内の他行事との兼ね合いからキッズシアターを昨年度より1か月早い12月末に実施することにした点である。2年目の本授業の1年間の授業計画と授業内容は表1のとおりである。

3) 研究上の倫理的配慮

本研究において使用する学生の写真やレポートなどの記録物については当該学生から紙面にて掲載許諾を得ている。写真については来場者個人が特定できない写真を掲載している。なお、学生の学びの記録は原文ではなく、個人が特定できないよう抜粋し内容をまとめたものである。

3. キッズランドの発表内容

地域の子ども（乳幼児や小学生）や保護者を大学に招いて子どもの遊び場コーナーを開催した。大学

鳥根県立大学・鳥根県立大学短期大学部
あすかさい
☆飛鳥祭☆

10月19日(土)、20日(日)に鳥根県立大学・鳥根県立大学短期大学部の第59回飛鳥祭を開催します。学生によるおいしいグルメの模擬店や、展示、外部からの出店などもあります。ぜひお越しください！！

・日時 ⇒ 令和元年10月19日(土)・20日(日) 午前10時～午後4時頃まで
・場所 ⇒ 鳥根県立大学松江キャンパス(松江市浜乃木7-24-2)
・入場料 ⇒ 無料

鳥根県立大学短期大学部 保育学科1年
★第2回キッズランドへようこそ★
10/19は、こどもたちのあそびコーナーとものづくりコーナーをします。ぜひあそびにきてください！！

入場無料

にちじ：10が19にち どうぶじ ごぜん10じ～ごご3じ
ばしょ：しまねけんりつだいがくまつえキャンパス 2ごうかん2かい
ブース：
〈あそびコーナー〉
・おぼけたいじ
・うでずもうマシーン
・もぐらたたき
・カップインチャレンジ
〈ものづくりコーナー〉
・ぎょうにゅうパックでジャンピング！
・てづくりカラフルとんぼをつくらう！
・ひっくりあうせん
・あさのたべものスティック
※詳細は裏面に記載してあります

★10/20おはなしレストランイベント★【入場無料】
場所：松江キャンパス体育館棟1階・おはなしレストランライブラリー
①「おはなしのじかん」 10月20日(日)11時～(11時20分講義終了予定)
・おはなしレストランのおにいさん・おねえさんが絵本の読み聞かせをします。
②「キッズ・イングリッシュ」 10月20日(日)11時30分～(11時50分講義終了予定)
・大学のおにいさん・おねえさんが英語で読み聞かせをします。
③絵本の閲覧・貸出 (①②のイベント時間を除く)
・10/19(土)、20(日)は10時～17時まで、通常通り絵本の閲覧・貸出ができます。
※おはなしレストランライブラリーは、大学内にある子ども向けの絵本の図書館です。開館日は鳥根県立大学松江キャンパスホームページのおはなしレストランからご確認ください。

キッズランド
笑顔いっぱい 元気いっぱい！ わくわくいっぱい！

おぼけたいじ おぼけたいじにボールを置いておぼけたいじをしよう！	ジャンピング牛乳パックでjumping! 牛乳パックに好きな絵を描いて飛んでみよう！ 誰が一番高く飛べるかな？
うでずもうマシーン マシンとうでずもう対決！みんなは勝てるかな？	手作りカラフルとんぼを作ろう！ 自分だけのオリジナルのとんぼを作ろう！作ったとんぼを飛ばして遊んでみよう！
もぐらたたき 飛び出すもぐらを全部たたき取ろう！	ひっくりあうせん 好きなパーツを選んで世界に1つだけのひっくりあうせんを作ろう！
カップインチャレンジ 2人で力を合わせてボールをカップの平に入れよう！	秋のたべものスティック 秋のいろいろな食べ物を使ってスティックにつけて一緒に写真を撮ろう！
駐車場 鳥根県立大学内訳・駐車場案内(10/19・20日)	写真スポットでおい！ポーズ 秋の風景の前で思い出の写真を撮ろう！
	おうえいコーナー ぜひおで自由にご覧ください！
	構内図

図1. キッズランドチラシ

祭におけるキッズランドの具体的な実施内容は以下のとおりである。

1) 開催概要

日時：令和元年（2019）10月19日（土）10時～15時

場所：本学2号館2階表現演習室（教室名変更・昨年度と同じ場所）、221講義室

2) 広報活動

10月19日のキッズランドの実施に向けては、保育所や幼稚園の保護者に配布する案内チラシ（図1）を三役（学生全体を統括するリーダー）がとりまとめる形で作成し、三役・学生間で協力して印刷作業を行った。チラシの配布は松江市教育委員会と松江市役所子育て部子育て支援課に協力をお願いし、松江市内の認可保育所・認可幼稚園の各所園のボックスにキッズシアターのチラシを投函し、各保育所・幼稚園から家庭に配布していただいた。



図2. 会場の様子(表現演習室)



図3. おばけたいじ

3) 活動概要

大学祭では表現演習室で物づくりコーナーを、221講義室は遊びコーナーを主に設定し、来場した子どもたちや保護者がゆったり遊んだり作ったりできるようにした（図2）。

(1) 遊びコーナー

① おばけたいじ（図3）

段ボールに子どもの背の高さより少し低いおばけの絵を描き、おばけの首や帽子にめがけてボールを当て



図4. うでずもうマシン

ると顔がパタンと下に倒れるゲームである。子どもがおばけをやっつけると、学生が作成した折り紙で作ったロゼットがもらえることにした。

②うでずもうマシン（図4）

段ボールに2人の手を入れ、うでずもうをする。学生対子ども、または保護者対子ども、きょうだい同士、友達同士など、いろいろな人と対戦できるようにした。

③もぐらたたき（図5）

段ボールに5箇所穴を開け、その穴からペットボトルを学生がランダムに出し、それを子どもが叩くゲーム。30秒で何回叩けるかを測り、上位者の名前を貼り出した。ゲームを行う際、ペットボトルを操作する学生、タイムを計る学生、叩いた回数を数える学生に分担して行った。

④カップインチャレンジ（図6）

子どもがボールを投げ、学生または保護者がカップですくい取るように入れるゲームである。カップが小さく入れるのが難しい子ども向けに小さい段ボールや中くらいの段ボールも用意し、投げてキャッチする遊びを行った。子どもが段ボールで受け取ることもできるようにした。

(2)ものづくりコーナー

①びっくりふうせん（図7）

紙コップにストローで息を吹き込むと、ビニール袋の顔などが出てくるしくみのおもちゃである。子どもがビニール袋に顔などの絵をペンで描き、ビニール袋の先端をまとめてストローとつなげ、紙コップに



図5. もぐらたたき



図6. カップインチャレンジ



図7. びっくりふうせん

穴を開けてビニール袋を紙コップの中に収めてストローを穴に通して完成である。

②牛乳パックでジャンピング

学生が牛乳パックをあらかじめ長方形に切り抜いておき、その片面に子どもがジャンプする動物や好きな絵を描き、牛乳パックを半分にして輪ゴムをかけて手を離すと、牛乳パックが跳び上がるしくみである。子どもが作ったあとに跳ばして遊べる場所を設け、壁側にビニールテープで高さのメジャーを示し、どれくらい跳んだかがわかるようにした。



③てづくりカラフルトンボをつくろう (図8)

学生が色違いの画用紙をトンボの形に切り抜いておいたものに、子どもが目や模様などをペンで描き、トンボに左右対称の折り目をつけ、目の先端に画用紙と同色のゼムクリップをつけると完成する。トンボの胴体を持ち飛行機を飛ばす要領で投げると、トンボを遠くまで飛ばして遊ぶことができる。

図8.カラフルとんぼをつくろう

④秋のたべものスティック (図9)

学生がぶどうや栗などを描いた絵を用意し、子どもたちが色を塗ってスティックに貼り付け完成である。子どもたちがスティックやとんぼを持って、秋の背景の前で保護者が写真を撮ることができる撮影スポットも作った。



図9.秋のたべものスティック

4. キッズランドを通じた学生の学び

12月22日の発表後にレポート課題としてキッズランド・キッズシアターなどの1年間の取り組みについて、学生にふり返しシートのレポート課題を出した。ここに見られる学生の自己評価は以下の通りであるが、昨年度と同様の内容は記載せず、新たな内容に限定して挙げることにする。

1) 子どもの心身の発達の理解と保育者の指導・援助

(1) 題材の設定

・就学前の幼児期の子どもたちを想定し、子どもたちが夢中で遊び込める簡単すぎず、難しすぎない題材や素材を選択するために試行錯誤した。子どもの心身の発達を考えながら題材を選択することを通して子ども理解につながった。

(2) 遊具や材料の準備と環境構成

・遊びのブースで「もぐらたたき」を行ったが、年齢や個人差に応じて台の高さや大きさ、台の装飾にも工夫を施した。保育実習の経験から台やハンマーの強度もメンバーで意見を出し合い、段ボールで補強をしたり、予備の台を準備したり改善を重ねた。

・子どもの発達差を考えて、びっくりふうせんではスムーズに作れるように紙コップに穴をあけたり、とんぼも形をくりぬいたりしていたのがよかったことが子どもたちの作る様子から分かった。

・子どもの予想される活動の姿から様々な状況を考えて準備活動に取り組むことができた。また、遊びのブースの場所や順路を分かりやすく掲示したり、会場の中の楽しい雰囲気づくりや安全の配慮に気を配ったりすることを通して子どもの姿や活動の予測と想定の大切さを学んだ。

(3) 環境構成と遊びの発展

・牛乳パックでジャンピングでは、子どもたちがいろいろな動物などの絵を描いて飛ばしたり、飛ぶ高さなども競っていて何度も遊んでいた。作るだけでなく、作って遊ぶということが子どもにとって楽しいことだと分かった。

・びっくりふうせんでは、子どもたちがビニールや紙コップに思い思いの絵を描いて、ビニール袋の中に紙吹雪を入れたりして工夫して作っていたが、その集中力に驚いた。できた後、「見てて」と言って何度も膨らませて喜んでいる姿を見て私も嬉しくなった。

・カラフルとんぼを飛ばして遊んでいる場面では、始めは壁の花や太陽に向けてとばしていたが遊びが停滞したため会場の中のマットの上に花に見たてた段ボールの作り物を設定した。すると、花を囲んで花にトンボが止まるように狙って投げたり、とばす距離を工夫したり遊びが発展し楽しく遊ぶことができた。また、視線の方向や手首の動かし方に気づき、花に向かって花にのるように投げるための工夫をくりかえす幼児もいて遊びの意義をあらためて学んだ。

(4) 子ども理解と言葉がけ、子どもへの関わり

・最初は緊張している様子の子どものたちも、保育者側から笑顔でやさしく、いろいろと積極的に話しかけると少しずつやり始めることが分かった。

・「カラフルとんぼをつくろう」をテーマに作って遊ぶブースを行ったところ、子どもたちが夢中になって何回も挑戦するする姿やとばし方の工夫をして遠くの方へとばす子どもなど、一度集中したらとことん遊びこむ様子やこだわりをもって取り組む姿を見とることができた。

・もぐらたたきやおぼけたいじなど、おもしろいと言っては何度もくり返し挑戦しに来る子どもがいた。もぐらたたきではもっといいタイムを出したい、おぼけたいじでは的に当てたい、全部倒したいなど、子どもなりの思いがあることが分かった。「楽しい」と言ってくれたことがうれしかった。

・工作の作業が難しそうな2.3歳の子どもに「お姉さんがしょうか？」と聞いても「自分でやりたい」という子が多かった。一方で4.5歳の子でも「これやってー」と言ってくる子がいて、いろいろな子どもがいて分かった。

・カラフルとんぼでは子どもたちが作りながら遊んで喜んでくれた。作ったとんぼを飛ばせることに子どもも保護者も驚いていて、飛ぶ距離も想像以上だったようで、工作と遊びが結びついていることによるよさが分かった。

・帰り際に「このトンボを家でも作ってみる」「友達に教えてあげる」などと嬉しそうに言ってくれたのが印象的だった。

・牛乳パックでジャンピングを作った男の子が、見本ほど自分の作ったものが飛ばないことに「切れ込みが浅かったのと輪ゴムが緩かったからかな」と言って諦めずに改善していた。この様子から、創作して遊ぶことは子どもに考えて行動する力も育てられるということに気づいた。

・保育所実習で子ども一人一人に応じた言葉がけの重要さや難しさを感じていたので子どもたちの反応を見ながら援助の工夫を行い、子どもの興味を引き出す導入の言葉がけや遊びが停滞する子どもの援助などたくさんの子どもと触れ合う中で経験することができた。

2) 保護者との関わり

・最初はずかしそうにしている子どもに「お母さんと一緒にやってみる？」と聞くと、うなずいてやってくれたりした。保護者も巻き込んで誘ったり参加を促したりすることも、子どもがやってみたいきっかけになることが分かった。

・子どもたちには工作のレベルが保護者に少し手伝ってもらってできるくらいの難易度だったのでちょうどよかったと分かった。年長や小学生は自分でどんどん作っていて、オリジナリティも出して楽しそうだった。

・親子で来場された方が多く、保護者が子どもたちと接する姿勢や子どもたちの保護者との触れ合いの様子を見ることができた。子どもだけではなく保護者にも声をかけるように意識して活動した。短い時間の中でたくさんの会

話ができたとコミュニケーションの取り方や注意をはらいながら視野を広くもつことも学ぶことができた。

・保護者から「これは手間や時間がかかるからこういった活動ができるのはありがたい」と言われ、保護者にとってもよい場所になったのかと思った。

・保護者から「とても楽しい企画をありがとうございます」と言われ、今まで一生懸命準備してやってきてよかったと思えた。

5. キッズランド当日の会場アンケートによる評価

キッズランドでは来場した保護者や子どもにアンケートを実施したが、回答は午前・午後合計 78 通であった。主な自由記述は、「遊びや工作が楽しかった」「いろいろな遊びがあり、工夫されていてよかった」「学生が笑顔で対応してくれた、子どもへの接し方がやさしかった」「親子で遊べる活動があり、ふれあいタイムとなりよかった」「壁の飾りつけや BGM がワクワクした」などの回答が多数寄せられた。

6. おわりに

大学祭で開催したキッズランドの活動は、子どもたちが主役となって遊びや工作ができる場を作り、そこでの子どもたちの様子を学生が知り、保育者という立場で子どもたちに関わってみることで子どもへの指導・援助の方法を学ぶことを目的に行ったものである。

学生のふり返りの文章から、学生が子どもたちのことを思いながら遊びや工作の内容を考え、どのような遊具や材料、素材をどのくらい用意しておけばよいかをパートで話し合いながら準備を重ねてきたこと、子どものやる気を引き出したり楽しさを感じられるように装飾を壁に貼ったり、活動の内容が分かりやすくなるような説明を書いたり、子どもがケガをしないように安全面を考えて環境を整備したりなど、どのようにすれば子どもたちが楽しめる活動になるのかを考えていたことが分かった。キッズシアター当日の様子からは、子どもとの関わりの中から多様な子どもがいること、子どもの発達の様子や子どもの集中力、どういったところに楽しさやおもしろさを感じるのかなどの様々な面に気づいたようである。この活動を通じて子どもが充実して遊んだり作ったりしている様子を実際に知り、子どもや保護者から感謝の言葉をかけられたりすることにより、保育者としての感覚や子どもに関わるという保育のやりがいの一端を感じる機会になったのではないかと思われる。次年度の「保育内容演習Ⅰ・Ⅱ」の授業に向けても、今年度の状況を踏まえ授業の改善を図っていきたい。